

平成 30 年度 事業実施報告書

講座の名称	デートDV防止セミナー		
講座の目的	デートDVは、恋人同士での「からだ」や「こころ」に対する暴力で、人権侵害であり犯罪です。長野県男女共同参画センターは教育機関や関係団体等と連携しながら、若者のデートDVを防止するために講師派遣事業を行ないます。		
募集対象	長野県内の高校、大学等		
募集申込数	15校	実施決定校	7校
講師	竹内 未希代さん（きりりネットワーク代表） 気賀沢 葉子さん（心理カウンセラー、参画コラボ@信州 代表） 小濱 知実さん（信州豊南短期大学非常勤講師、参画コラボ@信州）		
実施日	学 校	学 年	受 講 数
平成 30 年 7 月 13 日	篠ノ井高等学校 犀峽校	1～3 学年	57 名
平成 30 年 7 月 20 日	長野県公衆衛生専門学校	1～2 学年	39 名
平成 30 年 7 月 23 日	岡谷南高等学校	2 学年	197 名
平成 30 年 8 月 22 日	中野立志館高等学校	1 学年	240 名
平成 30 年 9 月 12 日	東御清翔高等学校	1～2 学年	184 名
平成 30 年 9 月 27 日	阿南高等学校	2 学年	84 名
平成 30 年 11 月 21 日	小諸高等学校	3 学年	192 名
参加者の声			
<ul style="list-style-type: none"> ・ デートDVの説明で、どのような事がデートDVなのか例もあったりして、言葉だけではわからないことも前の方で先生がやってくれたりして細かな所まで知ることができた。 ・ デートDVの意味を間違えて覚えていたから、今日の講演で分かって良かった ・ ケンカとDVはちがうというのが印象に残りました。自分の気持ちをはっきり言えるようになりたいと思いました。 ・ 人とつきあっていく上でこういったDVや暴力などに気をつけて行かなければと思いました。こういった話はなかなか聞く機会がなかったのでよかったです。 ・ 暴力だけでなく、束縛や命令などいろいろなことがデートDVに含まれるんだなあと思った。 ・ 自分の思いと相手の思いが一緒とは限らないから、一方的にならないようお互い気をつけるべきだと思った。 ・ いろんな人の意見を聞くと、私の周りでもありがちなことが多く、それがデートDVだと思わず流してしまっていることが意外に多かったです。 ・ SNSでもデートDVが起こる事が印象に残りました。 ・ これから自立するために、自分のことをよく知り、大切に扱い、自分を護る術を得なければならないと知った。他人も大切にできるようにしたい。 ・ 「凶器は何であれ、心が傷つくことは暴力なのだ」という言葉はうなずけました。うっかりしていると、これがDVと気づかずにいることもあるかもしれないと思いました。 			